



島根県レクリエーション協会

スポーツくじ

GOLO

BIG

私たちはスポーツ振興くじ
助成を受けています。

じょいなす

Vol.49 2020.2.25 発行

受賞おめでとうございます

永年にわたって、レクリエーション活動を支えていただいた皆様が功労者表彰を受賞されました。

令和元年島根県レクリエーション協会功労者表彰

月日 令和2年2月22日(土)

会場 サンラポーむらくも



佐々木裕介 様

浜田レクリエーション協会
理事



宮崎 吉正 様

浜田レクリエーション協会
理事



田中智香子 様

大田市レクリエーション協会
理事



岩田 浩 様

津和野スクエアダンスクラブ
会長



谷 久与 様

松江市フォークダンス連盟
会長



長岡 健司 様

島根県キャンプ協会
副理事長



木村 弥生 様

島根県オリエンテーリング協会
副理事長



安達 洋一 様

島根県スポーツウエルネス吹矢協会
理事(安来支部長)



栢野 和美 様

島根県レクリエーション協会

2019年度島根県委託事業 子ども元気アップ事業(レクリエーションによる幼児期の体力づくり事業)

好評でした!

今年度、島根県から「レクリエーションによる幼児期の体力づくり事業」を受託し、幼稚園・保育所・小学校、公民館等から依頼を受けて、約80件、4800名の方に運動遊びや3B体操などで楽しく体を動かしていただき、好評をいただきました。

内容等はじょいなす号外(2020.2.3)で紹介していますのであわせてご覧ください。

生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2020 開催

2月7日（金） 会場：松江しんじ湖温泉 ホテル一畑

地域におけるスポーツ推進の現状と課題について、研究協議や意見交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化とスポーツ社会の実現に向けた機運の醸成を目的に、スポーツ庁と生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会が主催する「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2020」が島根県で開催されました。この会議は、1990年から2009までは「生涯スポーツコンベンション」、2010年は「生涯スポーツ全国会議」として開催され、2011年から現在の名称で、毎年都道府県持ち回りで開催されています。



平成27年にスポーツ庁が発足し、国をあげてスポーツ振興方策の更なる充実、スポーツを通じた健康増進、地域活性化、国際的地位の向上の取組が推進されています。また、昨年、日本で初めて開催されたラグビーワールドカップ2019日本大会や、いよいよ開催目前となった2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2021年にはワールドマスターズゲームズ2021関西といった大規模な国際競技大会の開催で、国内ではスポーツに対する機運が日に日に高まっています。このような中、「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2020」が島根県で開催されたことは大変意義深いと思います。

全体テーマ：
「2020年東京オリンピック・パラリンピック
競技大会のレガシーに向けて
～ Sport in Life（スポーツ・イン・ライフ）～」

午前には、オープニング、表彰式に続いて、「みんなで一緒にSport in Lifeで生き生きとした人生を！」をテーマとした全体会（トークセッション）が行われました。NHK松江放送局アナウンサーの福田光男さんがファシリテーターを務められ、鈴木大地スポーツ庁長官、原久美子循環器中町クリニック院長、そして吉本興業所属タレント、ペナルティのワッキーさんが、スポーツを通して健康で、生き生きとした人生を送ることができる地域社会をつくるために何をすべきかについて持論を展開されました。

午後は、4つの分科会が開催され、島根県レクリエーション協会は、日本レクリエーション協会が主催する第2分科会に参画しました。「人生100年時代！

『楽しさ』を重視したスポーツ・レクリエーションの可能性」のテーマで行われたパネルディスカッションは、立教大学の松尾哲夫教授がコーディネーターを務められ、4人のパネリストの1人として当協会の岩本冷子事業委員長が登壇しました。



分科会は4人のパネリストによる取組の発表からスタートしました。日本ウオーキング協会の井上成美専務理事は、「歩く」魅力に引き込む仕掛けづくりの取組を発表されました。身近で手軽なスポーツとして人気が高いウオーキングですが、パスポートの発行や表彰制度、企業や自治体と連携した大会の開催など、さらなる愛好者拡大の努力をしておられます。また、熊本県南関町教育委員会の城野和則さんは、「南関こども体力向上コンソーシアム」の取組を紹介されました。学校、総合型地域スポーツクラブ、大学、地域の企業や団体が地域コンソーシアムを構築して、学校への体育サポーターや、保育所にプレイリーダーを派遣されている取組は、確実に成果を上げておられます。パネリストの一人として登壇されたペナルティのワッキーさんは、誰もが楽しめるスポーツテンカの仕掛けについて発表されました。日本レクリエーションと吉本興業が共同開発されたスポーツテンカは、ワッキーさんを中心に国内外で普及活動が展開されています。

島根県レクリエーション協会からは、平成25年から5年間取り組んだ「レクリエーションによる体力向上事業」の実践を中心に発表しました。協会を構成している地域団体、種目団体と連携し、3万人を越える参加者に体を動かす楽しさを届けた取組を高く評価していただき、レクの強みを生かした今後の取組にエールを送っていただきました。



島根県レクリエーション協会
理事長 木村真介

運動好きな子どもを育てるために

～子どもの「からだ」と「こころ」を考える～

出雲市で開催された研修会に参加しました。講師である中村和彦先生の第一声が「今日は研修会なので研修をしておもうと思います、ワークをたくさんします」と。そして始まったのはテーブルごとに自己紹介をし、順番に他の人のことを褒める言葉を書き出す…というものでした。会場にいた私をはじめ、多くの人が驚きを隠せませんでした。「いつもは先生の話の聞くだけなのに…」(笑)

次のワークは「運動」「睡眠」「食事」「園の評価」などのキーワードの書かれたカードを、グループ内で話し合いながら大事だと思う順に並べていくというものでした。

今の子どもたちの体力が低下しているということは大人は誰でも知るところであり、それについての情報

が過多である現在、その中から本当に事実なのか正しいことなのか証明されていることなのかをしっかりと判断すること『リテラシー（物事を読み解き活かしていくこと）』を高めていくことが必要であるとのこと。

私たち大人のコミュニケーション能力や思考力・判断力を高めていくことで一方的な情報に食いつくことなく、子どもたちに本当に必要なものは何なのかをもっともっと思えていかなければならないと改めて思いました。
広報委員 栢野和美



第18回 鬼ゴッター大会を開催！

年に3回主催しているスポーツ鬼ごっこのミニ大会。今回は2019年12月15日(日)松江市宍道町の宍道体育館で、約50名の選手が参加しました。参加チームがいつもより少なかったこともあり、1試合ずつじっくりと試合を行いました。

試合後は、全国大会出場チームからの報告と感想発表に加えて、監督からのタッチのポイントなどルールに関しても最新情報を教わりました。

試合では、全国大会を経験したチームメンバーの動きが機敏になってチームワーク力が増しているのも素晴らしいです。大会を重ねるたびに、選手の意欲増や、保護者、審判の皆さんのご協力に感謝の気持ちが増します。

しまね鬼ごっこ協会
会長 中村和可子



第29回 春の全国小学生ドッジボール選手権 島根県予選報告！



春の全国大会の県予選を、2020年1月19日に実施しました。全国大会につながる大会ということから、朝から、会場全体、選手、指導者、審判役員全て、緊張していることが伝わってきました。

協会ルールの基本は、子ども達に、『自主性・自己責任・向上心』を養ってもらうとの観点で実施します。

決勝戦では、今年度、急に力を伸ばしてきた玉湯ボンパーズ(松江市)と昨年夏の大会でも優勝し全国大会に出場した神戸川レッドブリッジ(出雲市)の戦いで手に汗握る戦いでした。結果神戸川レッドブリッジが全国大会の切符を手に入れました。今年の全国大会は3月29日、広島県のグリーンアリーナで行われ、神戸川レッドブリッジは、島根県の代表として出場します。皆さま方も応援にお越しいただければ、子ども達にも励みになると思います。

島根県ドッジボール協会
理事長 古瀬浩幸



今年度のレク学縁も毎回たくさんの方にご参加いただき、和やかに時に真剣に(?)レクリエーションを“楽習”しました。インストラクター資格取得を目指す方だけでなく、学びなおしを希望する有資格者や、「とにかく、現場ですぐに使えるレクを習得したい」という単発参加も多くありました。

前半4回は実技を中心に、また後半3回は理論を中心とした内容でした。どの回も笑いと学びにあふれていましたが、その中から最終回の様子をご紹介します。

最終回はプログラム作りがメインテーマ。まずプログラム作りの基礎知識を学んだ後、グループに分かれていただき、現実的な設定の下、具体的なイベントを企画し、ポスターを作る～というものでした。どのグループも楽しそうに話し合いながら演習を進めていました。参加者の中に「私の勤めている施設で、いままさに『イベントを企画しよう』という話が出ているんです!」という方がありました。「じゃあ、実際にお勤めの施設で開催するつもりでプログラムを作ってみては?」という講師の言葉にさらに熱が入り…(笑)。

今すぐにでも開催できそうな素敵なイベントプログラムを作り上げられました! 終了後には「今日作ったプログラムをぜひ実現させたいです。実現したらご招待します!」と笑顔で帰って行かれました。

来年度のレク学縁も、楽しい学びの場となるように準備を進めています!

皆さんのご参加をお待ちしております!

人材育成委員長 奥村美香



島根レクリエーション有資格者の会 第7回研修交流会 特別ゲストに奥田祐子さんを迎えて開催

1月25日(土)・26日(日)、浜田市の石見公民館において、第7回研修交流会を開催しました。今年は記録的な暖冬で、雪道の移動の心配もなく、県内各地から集まった36名の参加者は、楽しいレク活動を満喫しました。

今回のレクチャー(講師)は、まず1日目の河野茂照さんと江川倫子さん(浜田市)。紙コップやピンポン球を使い、チーム対抗で楽しむゲームなどを紹介してくださいました。2日目は、大森庸司さん(松江市)が介護予防の創作レクを、梶谷清美さん(出雲市)が子どもと楽しむ「忍者ランド」の遊びを紹介してくださいました。

そして今回は、研修交流会では初めて県外から特別ゲストをお迎えしました。特別ゲストは、広島県の奥田祐子さんです。奥田さんは、野外活動や音楽活動など幅広く活動してこられた屈指のレクリーダーです。現在は、NPO法人いきいきアクティビティサービス理事長として福祉レクを中心に活動しておられます。当日は、「高齢者サロン・高齢者施設・障がい者施設等で楽しむレクリエーション」と題して、簡単に楽しくて元気になるレク活動を紹介してくださいました。

まずは、ADL(日常生活動作)の基本動作を活用したレクリエーション活動。イスに座ったままリズムに合わせて

足を動かす転倒予防運動や、食事への意識を高める「弁当争奪ジャンケン」を体験しました。続いて、軽度認知症障害に効果的な「いろいろグーパー」、「証城寺の狸ばやし」。認知症に効果的な「鈴で歌リズム」など、何のためにどんな運動をするのかという分かりやすい理論の説明を交えながら、いろいろなレク活動を紹介してくださいました。奥田さんといえばレクソング。「365歩のマーチ・グーパー体操」に「小指の思い出・指体操」、「てんとう虫のサンバ」でレクサイズと、懐かしい歌に合わせての運動で、心も体もリフレッシュしました。

島根レクリエーション有資格者の会事務局長 木村真介



ご意見をお寄せ下さい

今年度3号目となる「じょいなすVol.49」を発行いたしました。この広報誌をご覧になったの感想・ご意見を、事務局あてに、郵送またはFAXまたはメールで送ってください。感想やご意見をいただきました方の中から、抽選で5名の方に粗品をプレゼントいたします。応募締め切りは、令和2年4月30日必着でございます。

指導者情報

レク・インストラクター	103名
準中級レク・インストラクター	385名
レク・コーディネーター	24名
福祉レク・ワーカー	29名
余暇開発士	3名
スポ・レク指導者	8名
計	552名

令和2年2月3日現在
島根県在住

日本レクリエーション協会
公認指導者(延べ人数)

令和元年度 賛助会員名簿

令和元年11月1日~令和2年1月31日受付分

鳥落 隆子 石倉 有子 (受付順、敬称略)

引き続き賛助会員を募集しております。詳しくはホームページをご覧ください。

編集・発行

発行 島根県レクリエーション協会
〒690-0888 松江市北堀町15
(島根県北堀町団体ビル)
TEL (0852) 21-7778 FAX (0852) 33-7246
E-mail : simarecj@vega.ocn.ne.jp
http://www.shimane-rec.jp
発行日 令和2年2月25日 編集 広報委員会